

課題図書

令和6年度

読んだ分だけ、世界が広がる

町立図書館では、令和6年度の課題図書を貸し出しています。

▶貸出期間 1週間 ▶貸出冊数 1人1冊まで ▶対象者 町内在住の小中学生・高校生

小学1・2年生

- 1 アザラシのアニュー
あずみ虫/作
童心社
- 2 ごめんねでこい
ささきみお/作・絵
文研出版
- 3 おちびさんじゃないよ
マヤ・マイヤーズ/ぶん
ヘウォン・ユン/え
まえざわあきえ/やく
イメージ・プラス
- 4 どうやってできるの？
チョコレート
田村孝介/写真
ひさかたチャイルド

小学3・4年生

- 5 いつかの約束
1945
山本悦子/作
平澤朋子/絵
岩崎書店
- 6 じゅげむの夏
最上平/作
マメイケダ/絵
佼成出版社

小学5・6年生

- 9 ぼくはうそをついた
西村すけり/作
中島花野/絵
ポプラ社
- 10 ドアのむこうの国への
パスポート
トンケ・ドラフト/作
リンデルト・クロムハウト/作
リンデ・ファース/絵
西村由美/訳
岩波書店
- 11 図書館がくれた
宝物
ケイト・アルバス/作
柳田理絵/訳
徳間書店
- 12 海よ光れ！3・11被災者
を励ました学校新聞
田沢五月/文
国土社
- 7 さようなら
プラスチック・ストロー
ディー・ロミート/文
ズエ・チェン/絵
千葉茂樹/訳
光村教育図書
- 8 聞いて聞いて！
音と耳のはなし
高津修/文
遠藤義人/文
長崎訓子/絵
福音館書店

中学生

- 13 ノクツドワイオウ
靴ノ往來堂
佐藤まどか/著
あすなろ書房
- 14 希望のひとしづく
キース・カラブレゼ/著
代田亜香子/訳
理論社
- 15 アフリカで、バッグの会
社ははじめました 寄り道多
め仲本千津の進んできた道
江口絵理/著
さ・え・ら書房

高校生

- 16 宙わたる教室
伊与原 新/著
文藝春秋
- 17 優等生サバイバル
青春を生き抜く13の法則
ファン・ヨンミ/作
キム・イネ/訳
評論社
- 18 私の職場はサバンナです！
太田ゆか/著
河出書房新社

本をたくさん
読みたい！



Joy

あなたの心と身体をリフレッシュ 生涯学習のページ

学校教育課 school-ed@swan.town.ora.gunma.jp	中央公民館 88-1177	町立図書館 88-5900
生涯学習課 further-ed@swan.town.ora.gunma.jp	長柄公民館 89-0123	町民体育館 88-5355
	高島公民館 89-1501	

邑楽町教育委員会

遊びの夏、冒険の夏、キャンプの夏！ ジュニアリーダーキャンプ

毎年恒例！今年も「ジュニアリーダーキャンプ」を開催します。飯ごう炊飯、まきを使った調理、キャンプファイアなど、普段の生活ではなかなか味わえない楽しいイベントが盛りだくさん。年齢や学校の垣根を越えて、たくさんの友達ができちゃうかも！ぜひこの夏休みは「ジュニアリーダーキャンプ」に参加して、一生の思い出を作ってみませんか。

- ▶期日 事前研修 7月27日①、8月3日②
本研修 8月10日③～12日⑤(2泊3日)
- ▶時間 事前研修 午前9時30分～午後4時
本研修 午前9時集合、午後5時解散予定
- ▶会場 事前研修 中央公民館
本研修 名草キャンプ村(栃木県足利市)
- ▶内容 キャンプや野外活動
- ▶対象 小学5年生～中学3年生
- ▶定員 30人
- ▶参加費 6,000円(食費、保険代、資料代など)
- ▶申込締切 7月20日③午後5時まで
- ▶申込・問合先 中央公民館

キャンプファイア、
川遊び、レクリエーション、
ハイキング、ドラム缶風呂
など



まき割りにも挑戦！

キャンプファイアをみんなで囲む

とうもろこしの皮をむいて

きれいに野菜を洗います

火加減がおいしいご飯の鍵！

レクでさらに深まる絆

ドラム缶風呂きもちい～

夜は花火で思い出作り☆

町立図書館 LIBRARY INFORMATION 8月 August 情報板 問合先 町立図書館

休館日

▶期日 8月5日㊟、12日㊟、18日㊟、
19日㊟、26日㊟、30日㊟
※18日㊟はおうら祭り。30日㊟は月末
整理日のため休館。

キッズわくわくスタンプラリー

月ごとのテーマの本を借りて、スタンプをもらおう。
▶対象 小学生

職員による「読み聞かせ」

▶期日 8月1日㊟、8日㊟、15日㊟、
22日㊟、29日㊟
▶時間 午前11時
▶対象 どなたでも

古本市

▶期日 7月27日㊟
▶時間 午前9時30分～11時
▶会場 町立図書館2階視聴覚室
▶内容 古本の販売
※古本1冊50円。1人30冊まで。持ち帰り用の袋は持参。

図書館プチ情報

町内の団体・個人に展示室の貸し出しを行っています。ご利用になる日の3カ月前から予約ができますので、希望される人はカウンターまたはお電話でご相談ください。

はくちょう号

到着時間	場所
10:30	特別養護老人ホーム やまつつじ
11:05	介護老人保健施設 ラポール・レイゾン
11:40	グループホームヴィラ
13:40	邑楽町社会福祉協議会 デイサービスセンター
14:20	グループホーム つむぎの里
15:10	ショートステイくるみ
15:20	住宅型有料老人ホーム おうらの里

町立図書館には毎週約100冊の本が新しく仲間入りします。
貸出中の場合には、予約サービスも利用できます。

新刊

さまよえる神剣

玉岡かおる／著 新潮社

伝承を信じ、後鳥羽上皇のため神剣探索の旅に出た忠臣・有綱。苦難の果てに帝一行が住み着いたという集落を発見するが、そこでは思いも寄らない運命が待ち構えていた。日本史最大の謎に挑んだ著者新境地の長編歴史ロマン。



パンダのおさじとふりかけパンダ

柴田ケイコ／作 ポプラ社



ふりかけパンダは呪文ひとつでどんなごはんも「パンダごはん」にかえる、ふしぎなふりかけ。でも、守らないといけない約束があって……。

水族館飼育係だけが見られる世界

下村実／著 ナツメ社



水族館飼育係の知られざる日常と、生きものたちとの出会いと発見について、飼育係一筋30年の著者がつづる抱腹絶倒のお仕事エッセイ。

親の認知症とお金に不安です

上大岡トメ／著 杉山孝博、黒田尚子／監修 主婦の友社



認知症の進み方や検査、接し方といった最新知識に加えて「お金の対策」についてなど、徹底的に当事者と家族、子ども目線で解説。

おとうとのねじまきパン

高橋うらら／著 合同出版



戦争は終わったのに、なぜ日本に帰れなかった？「満州国」を知らない子どもたちへ、その悲しい歴史をやさしく語るノンフィクション。

神社建築のスゴイひみつ図鑑

スタジオワーク／著 ワニ・プラス

ふんわりしっとり生地がおいしい米粉シフォン

柳谷みのり／著 文化学園文化出版局

泣いちゃうわたしと泣けないあの子

倉橋耀子／著 講談社



図書館映画会

日時	上映作品
8/2㊟ 14:00	フェアリーテイル (98分) 少女たちの純粋無垢な心を描いたファンタジー作品。
8/16㊟ 14:00	裸の大將放浪記 山下清物語 (120分) 放浪の天才画家、山下清の生涯を描いた作品。

▶時間 午後2時(1時50分開場) ▶会場 町立図書館2階視聴覚室
▶定員 70人(開場時に定員に達した場合は抽選) ▶入場料 無料
▶その他 開場時間までに2階視聴覚室前へお越しください

SCHOOL Life

邑楽中学校

全力で取り組み汗を流した体育祭

邑楽中学校では、5月に体育祭を行いました。各クラス、記録を伸ばすために意見を出し合い作戦を考えたり、昼休みを使って自主練習に励んだり、一生懸命本番に向けて準備をしました。

そして迎えた本番。当日は自分の種目だけでなく、応援など、全てに全力を尽くしていました。結果として順位はつきましたが、どのクラスもやりきった満足感を感じ、最高の思い出を作ることができました。

最後に私は、この体育祭を通して協力することの価値や全力で挑むことの大切さを学ぶことができました。今後も学んだことを生かして行事を協力しながら全力で取り組んでいきたいと思っています。

【邑楽中学校 西村 翔】



優勝目指して力を合わせて投げまくれ！

皆さんのすてきな思い出になる1日だったことでしょう。体育祭は一人一人が責任を果たして協力し、団結してよりよい学校をつくる行事です。体育祭で学んだことを日常生活の他の場面でもどんどん生かしてください！



町教育委員会 小林 淳一 教育長

邑楽中学校2年

佐藤 慶太



人権作文
優秀作品

言葉には気をつけよう

ぼくはある日、テレビでニュースを見ていた。ある有名人が自殺によって亡くなったという内容だった。そして、その自殺の原因は誹謗中傷によるものであった。その内容を見てぼくは気付いたことがある。匿名で自分の名前が分からないからといって、他人をバカにしたリ、悪口を言ったりしている人がたくさんいる。そして、誰か一人が人をバカにする、その言葉にたくさんさんの人がのっかる。こういう人たちは、自分がその人より優位な位置に立っていると錯覚している人たちがいるかと思う。そして、ぼくがいつも使っている言葉は、その人の命を奪ってしまうほどの力を持っているのだと気づき、恐怖を覚えた。

昔、祖母がぼくに教えてくれたことがある。それは「言葉」というのは、道具なんだよ。例えばいろんな人が使う包丁、それは料理を作ることもできるけれど、扱い方によっては人を傷つける凶器にもなるよ。それと同じように、言葉は扱い方によっては、人を傷付けたり、希望を与えたり、勇気づけたり、やさしいことを言ったりと、色々な力を持つ道具に変化するんだよ」と。ぼくは、そんな言葉を話したり伝えたりすることができるようになるまで、誰かの心を守るために使いたいと思った。たとえ、誰かの命を救うなどという、大きなことができなくても、日常の小さな言葉で、誰かを笑顔にしたり、勇気を与えたりすることができたらいいなと思った。

最近では、インターネットの利用が多くなり、暮らしの中でより多く、他人の言葉にふれるようになった。そんな社会で言葉の使い方をまちがえたらどんな世の中になってしまおうかと思った。一度、考えてみてほしい。

おうらの仲間たち No.427



書き方上達サークル



活動日 第3水曜日 時間 午後1時30分～3時30分
場所 長柄公民館 問合先 長柄公民館 ☎89-0123



2005年にスタートした歴史あるサークルです。長柄公民館の書道教室をきっかけに始まり、今は文字だけでなく絵も描いています。半紙に向かって先生から出題された課題の文字を書きます。満足する文字が書けたら先生に提出し、次回までに添削してもらいます。活動時間の後半で絵を描きます。こちら先生が見本のお花などを持ってきてくれて、描いていきます。墨で描く絵は濃淡で表現するため、メンバーそれぞれの味がでます。うまい下手を競っているわけではありません。家で一人で書くのは続きませんが、みんなで集まって楽しく書くことに意味があると思っています。今は長柄公民館まつりに向けて出品作品に取り組んでいるところです。お楽しみに！

